

平成28年度
教育委員会の点検・評価
報告書

平成29年8月
あま市教育委員会

－ 目 次 －

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員会会議以外の活動状況
5. あま市教育立市プラン
6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

- スクールサポーター配置事業
- 英語教育の推進
- 教育相談センター事業
- 小中学校適正規模等見直し検討事業
- 人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）
- 県委託事業
- 特色ある学校づくり推進事業
- キッズ防犯体験教室事業
- あま教師塾
- 教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業
- 教師力パワーアップ講座
- 学校支援会議
- あまっ子宣言
- 全国大会等出場報奨金
- 小中学校施設整備事業

(2) 生涯学習課

- 公民館事業
- 成人式事業
- シルバーカレッジ事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成推進事業
- 人権教育推進事業
- 子供若者支援地域ネットワーク強化推進事業
- 社会教育団体育成事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 社会教育施設整備事業
- 美和文化会館事業
- 美和図書館事業
- 文化施設整備事業

(3) スポーツ課

- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- その他スポーツ事業
- 社会体育施設整備事業

(4) 学校給食センター課

- 学校給食事業
- 学校給食センター施設整備事業

7. 学識経験者による意見

１．はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が、平成２０年４月１日に施行され全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

２．教育委員会会議の開催状況

平成２８年度は定例会議を１２回、臨時会議を１回開催しました。

（１）あま市教育委員会委員（平成２９年３月３１日現在）

職 名	氏 名	任 期
委員長	ほりえ てつじろう 堀江 徹二郎	平成２３年６月２５日から平成２７年６月２４日 平成２７年６月２５日から平成３１年６月２４日
委員長職務代理者	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成２２年３月２２日から平成２２年６月２４日 平成２２年６月２５日から平成２４年６月２４日 平成２４年６月２５日から平成２８年６月２４日 平成２８年６月２５日から平成３２年６月２４日
委 員	なんや えみこ 南谷 恵美子	平成２２年３月２２日から平成２２年６月２４日 平成２２年６月２５日から平成２６年６月２４日 平成２６年６月２５日から平成３０年６月２４日
委 員	よしだ のりよし 吉田 法良	平成２５年６月２５日から平成２８年６月２４日
委 員	さとう あけみ 佐藤 明美	平成２８年６月２５日から平成２９年６月２４日
教育長	まつなが ひろかず 松永 裕和	平成２４年４月 １ 日から平成２６年６月２４日 平成２６年６月２５日から平成３０年６月２４日

（２）教育委員会会議等

開 催 日	開 始 時 間	議案件数	報告件数
平成２８年 ４月１８日（月）	午後 ２ 時	９	２
５月２４日（火）	午後 ２ 時	５	６
６月２２日（水）	午後 ２ 時	７	８
６月２５日（土）	午前 ９ 時３０分	２	０
７月２１日（木）	午後 ２ 時	８	４
８月２４日（水）	午後 ２ 時	９	７
９月２７日（火）	午後 ２ 時	７	６
１０月１７日（月）	午後 ２ 時	６	５
１１月２４日（木）	午後 ２ 時	５	９
１２月２１日（水）	午後 ２ 時	５	６
平成２９年 １月２６日（木）	午後 ２ 時	９	６
２月２３日（木）	午後 １ 時	１０	７
３月１６日（木）	午後 ２ 時	１３	７

3. 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「後援申請」、「就学援助費の受給審査」、「区域外就学、指定学校変更」、「教科用図書の採択」など93件の議案が協議され、活発な議論がなされました。

また、臨時会（平成28年6月25日開催）では、「教育委員会委員長の選出」・「教育委員会委員長職務代理者の選出」の2件の議案が協議されました。

4. 教育委員会会議以外の活動状況

委員の活動状況は次のとおりでした。特に小中学校の行事に積極的に参加し、教育現場の実態把握に努めました。また、市長部局と連携し、予算の確保、議会答弁等市議会と積極的かつ綿密な関係を持ちながら様々な事業を展開しました。

○市議会関係	20回
○都市教育長会事業	12回
○海部地方教育事務協議会	10回
○学校行事	18回
○学校訪問	17回
○その他学校教育課事業	42回
○生涯学習課事業	27回
○スポーツ課事業	17回
○学校給食センター課事業	2回
○表敬訪問	13回
○その他の事業	68回

5. あま市教育立市プラン

あま市は、「教育立市」を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の子ども（「あまっ子」）の育成を推進しています。この考えをもとに、平成24年4月（平成28年4月改訂）に「あま市教育立市プラン」を策定し、この具現化を図るため、以下のような主要事業に取り組みました。

- スクールサポーター配置事業（全小中学校）
- 英語指導助手（ALT）配置事業（全小中学校（市雇用））
- 教育相談センター事業
- 小中学校適正規模等見直し検討事業
- 人権教育の推進
- 特色ある学校づくり推進事業
- キッズ防犯体験教室事業
- 教育人材バンクと出前授業
- 教員研修「教師力パワーアップ講座」
- 公民館事業
- シルバーカレッジ事業
- 子供若者支援地域ネットワーク強化推進事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 美和文化会館事業
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- 学校給食事業

6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■スクールサポーター配置事業

児童生徒の基礎学力の充実を目指し、T T (チーム・ティーチング)指導を始めとする少人数指導による学習支援や障がいのある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小中学校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

- ・スクールサポーター 64人

※ きめ細かい少人数指導を実施し、それにより個に応じた指導を進めることができました。また、T Tの授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

T T…担当の教師が進める授業に、教師とスクールサポーター（教職補助員）がチームを組み、児童生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。

■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、邦人（5人）と外国人（5人）の非常勤講師を英語指導助手（A L T）として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

- (1) 中学校の英語科授業における英語指導
- (2) 小学校の英語活動における英語指導
- (3) 授業で使用する教材の作成
- (4) 教員に対する現職研修
- (5) 授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- (6) 研修やミーティングへの参加

- ・小学校：英語指導助手 10人(アメリカ合衆国、カナダ、イギリス、日本)
- ・中学校：英語指導助手 5人(アメリカ合衆国、イギリス)

また、市内外国語部会を年間3回開催し、各学校の外国語活動の取組について情報交換を行いました。

※ 各小学校では、A L TとのT T指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、A L Tと英語教師によるT T指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

新学習指導要領の実施に伴い外国語活動が始まり、より高い指導力の教育体制づくりを目指していきます。

■教育相談センター事業

教育相談センターは、「学校教育支援」・「教育相談活動」・「不登校などの指導及び支援」を三つの柱とし次の事業を実施しました。

○学校教育支援事業

学校における日々の指導の中で、子ども同士のかかわりや高まりを大切にした学級経営や授業の改善を進める必要があります。そこで校内における現職教育や「あま市教職員研修」の充実をめざして、「教育アドバイザーの派遣事業」と「教師力パワーアップ講座」を実施しました。

- ・教育アドバイザー派遣事業

各学校の教科指導、児童生徒の正しい理解を図るため、校内の現職教育の講師・助言者を外部から招聘しました。

・教師力パワーアップ講座

教員の力量向上を目指して年10回の講座を実施しました。児童生徒の正しい理解を目指して、特別支援教育やカウンセリングのあり方から心の問題に迫る講義及びリスクマネジメントや授業づくりに関する講義が行われました。

○教育相談事業

学校生活や教育活動上の悩み、いじめ、不登校問題等の「相談活動」や学校が行う生徒指導等への援助、指導及び研修等の学校支援を行いました。

校長・教頭・学級担任・生徒指導主任・養護教諭など学校関係職員との話し合いの場をもち、市教育委員会・学校と連携を図りました。

【職員】	・教育相談員	1人
	・心理支援相談員	3人
	・学校支援アドバイザー	1人
	・親と子の相談員	1人

【教育・心理 相談面接件数（巡回指導含む。）】

・保護者	532件	
・児童生徒	707件	
・教職員	753件	
・教室訪問	378件	合計 2,370件

○適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生徒指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。

【職員】	・専任指導員	1人
	・補助員	6人

【通室者】	・平成28年度：適応指導教室の登録者数	30人
	・適応指導時間数	のべ2,428時間

※ 学校支援室、教育相談室、適応指導教室など学校教育活動の支援体制を充実することができました。中でも適応指導教室では、児童生徒に対し適正な指導や臨床心理の専門員による心理支援相談及び保護者に対しての面接相談を実施することができました。次年度に向けて、教育相談員の勤務時間数を増やすことで、相談時間を増やしたり学校の教員とともに不登校児童生徒の家庭訪問を行ったりすることを考えます。

■小中学校適正規模等見直し検討事業

市内には17の小中学校があり、旧3町単位で実施していた学区をそのまま引き継いでいますが、児童生徒数の面や通学距離の面で差が生じています。そのため、市民の意見を聴きながら学区の見直しの必要性を検証し、必要に応じて旧3町の枠組みにとらわれることなく学区の抜本的な見直しを行うことにより適正規模化を進めることに取り組みました。平成28年度は2地区で検討委員会を設置し、市民の意見を聴きながら検討をしました。

○篠田小学校・美和東小学校・七宝北中学校・美和中学校地区委員会

- ・七宝北中学校の適正規模化に向けた方策について検討を行い、教育委員会に対し、意見書が提出されました。
- ・地区委員会（3回開催）

6月27日、10月4日、3月14日

○甚目寺東小学校・正則小学校地区委員会

・甚目寺東小学校・正則小学校の適正化を図るため、甚目寺東小学校の学区の一部を正則小学校の学区に変更することについて検討しました。

・地区委員会（２回開催） １１月１４日、２月１３日

※ 篠田小学校・美和東小学校・七宝北中学校・美和中中学校地区委員会は、平成２７年度に引き続き七宝北中学校の適正規模化に向け検討を重ねました。その結果、その方策として、「学校選択制」の導入に向けた研究を進める、との意見書がまとめられ教育委員会に提出されました。この意見を踏まえて（仮称）七宝北中学校地区委員会を設立し、学校選択制について検討していきます。また、平成２８年度に立ち上げました甚目寺東小学校・正則小学校地区委員会では、学区見直しについて様々な問題点が挙げられ検討を重ねました。平成２９年度において、引き続き学区見直しの具体的な方向性を見出せるよう委員会を実施します。

■人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）

あま市小中学校人権教育研究会は平成２８年度の研究主題を『人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係をはぐくむ教育 ～「人権尊重の教育の視点」を指針とし、子どもたちの人権感覚を育てるために～』として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

○会 長 七宝小学校長

○事業費 ８００，０００円（市補助金）

○主な活動内容

- ・海部地区人権教育講演会実施
- ・全国人権・同和教育研究大会等参加
- ・研究紀要の作成

※ 児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を通じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取り組みの継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

- 平成２９年度は「部落差別の解消の推進に関する法律」（Ｈ２８．１２施行）の趣旨を踏まえ、教育及び啓発を行っていきます。

■県委託事業

○キャリアスクールプロジェクト（あいち・出会いと体験の道場）

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため全中学校の２年生を対象に実施しました。

- ・事業費 ５４０，９８０円（うち県委託金 １７０，０００円）

学 校 名	参加生徒数	実 施 日	受 入 事業所数
七宝中学校	１７１名	６月８日～１０日	５４か所
七宝北中学校	５８名	６月２１日～２３日	２２か所
美和中中学校	１９１名	１０月２５日～２７日	５２か所
甚目寺中学校	２１８名	１１月１５日～１７日	５８か所
甚目寺南中学校	２０７名	１１月８日～１０日	５０か所

※ 自立心と社会性が身につき、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の適性等将来を見据えた考えを持つことができました。

○特別支援教育推進モデル事業

愛知県の委託事業として、通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒に対する指導・支援方法について研究を行いました。

- ・事業費 100,000円（うち県委託金 100,000円）
- ・拠点校 七宝小学校
- ・事業内容 通常学級における授業研究会
発達障害等を持つ児童生徒理解についての研修
通級指導教室担当者研修会
通級指導教室における授業研究会

※ 学識経験者等を招き、市内全小中学校に参加を呼びかけ、拠点校を中心に研究会や研修会を実施しました。この事業を通して、発達障害等がある児童生徒への理解を深めることができました。

○学校教育研究委嘱校委託事業

愛知県の委託事業として、研究領域「学校体育」について、全校的に研究を行いました。

- ・事業費 61,700円（うち県委託金 61,700円）
- ・実施校 美和中学校
- ・事業内容 保健体育の授業での取組・・・「やってみたい」「高めたい」「続けたい」と思わせる取組
体力づくり部会での取組・・・生徒会との連携
特設部活動（陸上・駅伝・相撲）
健康づくり部会での取組・・・道徳の実践、けがの予防講習会、啓発活動

※ 体育の授業や、学校行事、部活動を通じた仲間とのふれあい、達成感を分かち合う心の醸成、基礎体力・運動能力の向上を図り、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ習慣づくりに取り組むことができました。

■特色ある学校づくり推進事業

- ・事業費 6,251,454円（全小中学校合計）
- ・実施校 全小中学校

この事業は、各学校で話し合われた夢を実現し、魅力ある学校づくりを目指し、従来の市内一斉横並びの学校づくりではなく「やれる学校から やれることから」を始める事業となっています。

7月に事業の進み具合のヒアリングを学校で行い、11月には翌年度の事業についてプレゼンテーションを実施する審査会を開催しました。大学より有識者を招き、事業の方向性についてのアドバイスをいただきました。審査会の結果に基づき、予算案の作成を進めました。事業の主なものについては次のとおりです。

- （1）教師の資質向上を図り学校の教育力を高める事業
- （2）子どもの基礎学力向上を図り確かな学力を育成する事業
- （3）豊かな心づくりとたくましい体力づくりに関する事業
- （4）学校を開き、家庭・地域・学校が連携し、「地域に密着した学校づくり」に関する事業
- （5）その他特色ある学校づくりに関する事業

審査会を実施することで、限られた市の予算を「より熱い思いの事業」に配分しました。学校と市教育委員会の思いの共有化を図り、魅力ある学校づくりをめざし、新たな教育実践を推進していく話し合いの場として今後も進めていきます。

※ 5年目を迎え、各学校がそれぞれの特色を打ち出し、児童生徒の心に響く活動に取り組むことができるよう、学校の発想・裁量・自主性を醸成する事業と

して定着しつつあり、学校の主体的な創意工夫による特色づくりを支援することができました。

■キッズ防犯体験教室事業

- ・事業費 440,640円（全小学校合計）
- ・実施校 市内全12小学校（3年生のみ）

平成28年度新規事業として、自立心が芽生え、友達と出かける行動範囲も広がってくる小学校3年生の児童を対象に、自身に危険が迫った時に自分の身を守る方法を練習する防犯体験教室を実施しました。

学校名	実施日	学校名	実施日
七宝小学校	平成28年12月12日(月)	篠田小学校	平成28年11月17日(木)
宝小学校	平成29年2月13日(月)	美和東小学校	平成28年11月28日(月)
伊福小学校	平成29年2月6日(月)	甚目寺小学校	平成28年12月8日(木)
秋竹小学校	平成29年1月26日(木)	甚目寺南小学校	平成28年11月18日(金)
美和小学校	平成28年12月19日(月)	甚目寺東小学校	平成28年12月15日(木)
正則小学校	平成28年11月30日(水)	甚目寺西小学校	平成29年1月24日(火)

※ 児童が不審者から身を守るための方法を見に付けることができ、児童一人ひとりに「自分の身は自分で守る」という危険回避の意識を培うことができました。また、紙芝居を用いた説明や実際の状況を想定した訓練体験により、児童にもとても分かりやすく防犯意識の向上につながりました。

- 平成29年度は見守り隊やPTAに参加していただき、地域との連携を図っていきます。

■あま教師塾

平成24年度から、あま市内の小中学校の新任から2年目・3年目の教職員を対象として、自主的な研修活動を行うため「あま教師塾」を設置しました。平成25年度からは、期限付任用教員（期付）・派遣非常勤講師（非常勤）・臨時的任用教員（臨任）もこの塾に参加できることとし、教師力の向上を進めています。

回	講座内容	講師
1	今の授業に満足していますか	弥富市立桜小学校 遠藤 孝 氏
2	掃除が楽しくなる清掃セミナー	ダスキン 暮らしの快適化生活研究所
3	甚目寺観音の謎に迫る	美和歴史民俗資料館担当者
4	考え議論する道徳に向けて	岐阜聖徳大学 玉置 崇 氏
5	食べることの意義を教育的に考えます	愛知瑞穂短大 上原 正子 氏
6	アクティブラーニングを具体的に考えます	埋蔵文化センター 蔭山 誠一 氏
7	法律は難しくないぞ	あま市立甚目寺中学校 大野 正親 氏
8	若い教師に望むこと	あま市教育委員会教育長 松永 裕和 氏

※ 市内の若手教職員の研修活動を支援することができました。1年を通して8回の研修活動を行い、教師としての成長を感じました。

「特色ある学校づくり」事業の中で、各校が講師を招聘し教員の授業力アップに取り組んでいる。学校間で連絡調整をして、互いに研修会や授業検討会に参加をする仕組みも定着してきた。また、18時からの研修会は時期によっては出ずらい面もある。次年度からは、夏休みを中心に研修会の開催を考えます。

■教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業

平成24年度に教育人材バンクを制度化しました。教育人材バンクは、あま市における学校教育の充実を図ると共に、文化・スポーツ等の各分野において、知識・技能及び指導力を有する人材を登録し、学校が必要とする人材に関する情報を提供するために設置しました。教育人材バンクに登録する者は、講師及び学校支援ボランティアとし、次の活動を行うものとしています。

(1) 講師は、登録された分野に係る指導、講座の実施等を学校の依頼に応じて行うものとする。

(2) 学校支援ボランティアは、学校の依頼に応じて、登録された分野や学校行事等学校教育活動に係る支援を行うものとする。

今後は、尚一層、人材バンクの人員を増やしていく予定です。

また、人材バンクと併せて「あま市ものしりジュニア検定」、「昔のくらしと道具」などの出前授業を市内全ての小学校で計12回実施しました。

また、平成27年度から、小学校高学年の希望者を対象に「あま市ものしりジュニア選手権」を実施しています。

※ 地元の人材を掘り起こし、有効活用を図る教育人材バンクの設置、及び出前授業の実施は、地域に密着する市民協働のまちづくりの第一歩として効果を上げる事ができました。また、ふるさと学習を通して、郷土愛を育てる教育活動を推進していきます。

■教師力パワーアップ講座

平成23年度から始まった教師力パワーアップ講座は6年目を迎えました。平成28年度は講座にテーマを設定し、参加者を募りました。日頃いろいろな問題に出会い、教師としてその解決に戸惑う場面に出くわることが多くあり、そのような時、自信をもって立ち向かうことができる力を身につけることがこの講座のねらいです。

回	講 座 内 容	講 師
1	こんなにもある四役の仕事とは？	あま市教育委員会教育長 松永 裕和 氏
2	教育論文の書き方	津島市立南小学校長 浅井 厚視 氏
3	学校環境をどう整えるか	元豊田市立前山小学校長 榊岡 譲 氏
4	学級の中で障がいをもつ子にどう接していくか	愛知淑徳大学 佐藤 賢 氏
5	言語活動の活発にするための手立ては	名古屋女子大学 榊川 知 氏
6	楽しい理科実験	愛知淑徳大学 佐藤 成哉 氏
7	道徳授業はこう変わる	元岡崎市立根石小学校長 松井 伸市 氏

8	ミドルリーダーとして	甚目寺南中学校 教務主任 後藤 環 氏
9	「みんなの学校」の映画を鑑賞しながら	あま市相談センター 臨床心理士
特別	外国語学習	五十嵐めぐみ氏 権田三希子氏 ヘレン・クラブトゥリー氏

※ 教員の資質や力量の向上のため、校内では十分に行うことのできない研修について補充・支援や充実を図ることができました。

さらに、教職員が参加したくなるような内容の研修会を設定していきたい。また、次年度からは、あま市の教職員に身に付けてほしい力を洗い出し、小中学校に講師を派遣する形の研修会を取り入れたいと思います。

■学校支援会議

平成24年度から、「あま市学校支援会議」を開始しました。

この会議は、「いじめ」、「不登校」、「問題行動（暴力行為などの触法行為）」、「自殺及び自殺未遂」、「児童生徒虐待」など緊急性を要する問題が学校で発生した際、校長が家庭・地域・外部の専門機関の力を借りて問題を解決したいと判断した時に、「あま市学校支援会議（略称 緊急ケース会議）」を校長は市教育委員会に要請するもので、学校の抱える問題に対し、次のとおりきめ細やかに対応する仕組みをつくることをねらいとしています。

- ① 家庭への働きかけや保護者に対する指導
 - ② 学校以外の専門機関（病院・警察）・学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員・区長）との連携や協力要請
 - ③ 緊急事項に対する学校対応の方針づくり
- この会議をあま市における学校関係者会議として位置づけています。
- ・「緊急ケース会議」のメンバー
 - 緊急性を要する問題が起きた学校の教職員（校長・教頭・教務・校務・養護教諭・スクールカウンセラーなど校長が参加した方が良く考える教職員）
 - ・校長の要請に応じて教育長が招集をかけるメンバー
 - ① あま市教育委員会（指導主事など）
 - ② あま市教育相談センター（臨床心理士・教育相談員など）
 - ・会議の必要に応じて招集するメンバー
 - ③ 海部児童・障害者相談センター
 - ④ 警察関係者
 - ⑤ 学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員）
 - ⑥ 学校医・学校歯科医・あま市民病院
 - ⑦ あま市役所関係各課

※ 緊急を要する問題が発生した場合に、教育委員会・学校・地域社会が一体となって迅速に対応できる体制を確立したことは画期的で、地域に密着した学校づくりを進めることができました。

■あまっ子宣言

あまっ子宣言ファイルを作成し、児童生徒に配布しました。

あまっ子宣言の唱和やあまっ子宣言を取り入れた授業等を行いました。

※ 「あまっ子宣言」の啓発実践に取り組んでいます。

■全国大会等出場報奨金

教育、文化及びスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付しました。

国際大会 4人
全国大会 26人（3団体）

・事業費 355,000円

※ あま市への愛着心の向上並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上に寄与するとともに、全国的にあま市のPR活動の一助を担うことができました。

■小中学校施設整備事業

安全安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

○篠田小学校トイレ及びキュービクル改修工事（第2期）

篠田小学校のトイレは、湿式床であり排水も悪く汚臭の原因の一つとなっていました。平成27年度に工事請負業者から工事続行不能届が提出され、工期途中で契約解除となってしまうため、施工途中となっていた箇所の改修工事をしました。また、建築当時から30年以上改修を実施しておらず、漏電によるショートの危険性が常に高い状態となっていたキュービクルの改修工事をしました。

・事業内容 校舎西棟西側（3カ所）と東棟（2カ所）のトイレ改修及び受変電設備改修

・事業費 58,212,000円

内訳）平成27年度支出：22,400,000円

平成28年度支出：35,812,000円

※ この改修工事を実施することにより、児童が安全安心に使用できる校舎の整備を進めることができました。

○篠田小学校トイレ改修工事（第3期）（学校施設環境改善交付金事業）

平成27年度に工事請負業者から工事続行不能届が提出され、工期途中で契約解除となってしまう篠田小学校トイレ及びキュービクル改修工事のうち第2期の施工対象外であった箇所の改修工事をしました。

・事業内容 校舎西棟東側（3カ所）と屋内運動場（1カ所）のトイレ改修

・事業費 44,604,000円

※ この改修工事を実施することにより、児童が安全安心に使用できる校舎の整備を進めることができました。

○甚目寺東小学校体育館吊天井改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

屋内運動場等の大規模な吊天井を有する施設は、地震発生時において甚大な被害が発生する可能性が高いため、大規模な吊天井を有する甚目寺東小学校体育館の改修工事をしました。

・事業内容 吊天井の撤去、屋根防水改修、照明LED化、音響消防設備改修、ガラス部飛散防止フィルム貼り

・事業費 51,732,000円

※ この改修工事を実施することにより、児童が安全安心に使用できる体育館の整備を進めることができました。

○七宝小学校キュービクル改修工事

一般的な耐用年数20～30年に対し、建築当時から30年以上改修を実施しておらず、漏電によるショートの危険性が常に高い状態となっていた七宝小学校のキュービクルの改修工事をしました。

- ・事業内容 受変電設備、高圧引込用負荷開閉器及び高圧ケーブルの更新、受変電設備基礎増設、フェンス更新

- ・事業費 12,973,608円

※ この改修工事を実施することにより、児童が安全安心に学校生活を送ることができる学校設備の整備を進めることができました。

○宝小学校キュービクル改修工事

一般的な耐用年数20～30年に対し、建築当時から30年以上改修を実施しておらず、漏電によるショート危険性が常に高い状態となっていた宝小学校キュービクルの改修工事をしました。

- ・事業内容 受変電設備、高圧引込用負荷開閉器及び高圧ケーブルの更新、受変電設備基礎増設、フェンス更新

- ・事業費 12,750,264円

※ この改修工事を実施することにより、児童が安全安心に学校生活を送ることができる学校設備の整備を進めることができました。

○正則小学校小荷物専用昇降機改修工事

設置後30年以上経過しており、老朽化が進んでいた正則小学校の給食運搬用の小荷物専用昇降機の改修工事をしました。

- ・事業内容 小荷物船用昇降機のリニューアル工事

- ・事業費 4,700,916円

※ この改修工事を実施することにより、児童が安全安心に学校生活を送ることができる学校設備の整備を進めることができました。

○甚目寺南小学校障がい児等対策施設整備工事

甚目寺南小学校には車椅子に乗ったまま入れるような多目的トイレがなかったため、トイレの改修工事をしました。

- ・事業内容 1階男子トイレ（1ヵ所）のトイレ改修

- ・事業費 5,162,400円

※ この改修工事を実施することにより、児童が安全安心に使用できる校舎の整備を進めることができました。

○甚目寺中学校防球ネット設置工事

甚目寺中学校のグラウンド西側には防球ネットがなく、校外へボールが飛び越えることが発生していたため、防球ネットを設置しました。

- ・事業内容 高さ約10m、総延長約80mの防球ネットを設置

- ・事業費 5,259,600円

※ この改修工事を実施することにより、生徒が安全安心に使用できる学校施設の整備を進めることができました。

(2) 生涯学習課

■公民館事業

市民の学習ニーズにあった学習の機会を提供し、自発的な学習意欲を喚起するとともに、知識や趣味を広げるきっかけ作りとしました。

○社会教育講座

美和公民館

各回テーマ	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
災害と環境に関わるリスクと信頼の心理学	5月14日 (土) 午前	高校生以上	6回	25名	22名	24名
アルツハイマー病にならないために	6月11日 (土) 午後					
あま市の仏像に親しむ	7月16日 (土) 午前					
やさしい元素の話 ー宇宙での元素の起源から 新元素発見と原発放射能までー	8月6日 (日) 午前					
21世紀の異文化コミュニケーション	9月10日 (土) 午前					
愛知の河川に住む魚たち ～現在の生息状況とその将来～	10月8日 (土) 午前					

七宝公民館

各回テーマ	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
豊かな人生のために、男女共同参画	10月21日 (金) 午前	一般(大学生以上)	6回	30名	30名	57名
楽しい遺言・相続講座	11月25日 (金) 午前					
本当の自分の心を知る旅Ⅰ・Ⅱ	12月16日 (金) 午前					
防犯教室～犯罪被害に遭わないために～	1月13日 (金) 午前					
健康体操～腰・膝の痛みを改善する～	2月10日 (金) 午前					
カンタン！足もみセルフケア講座	3月10日 (金) 午前					

○公民館講座

各種講座を開催し、市民が知識や趣味を広げる機会を提供しました。

七宝公民館

前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス	一般	8 回	15 名	15 名	52 名
パン作り	一般	5 回	36 名	36 名	37 名
スッキリ暮らそう！住まいとココロの整理術	一般	3 回	30 名	30 名	40 名
パソコン講座 初めてのパソコン	一般	8 回	15 名	15 名	40 名
楽しく学ぶ英会話レッスン 〈Starting Class〉	中学生以上	5 回	15 名	15 名	15 名

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
産後トータルケアクラス ココロとカラダのメンテナンス	乳児の親子	4 回	15 組	12 組	12 組
パン作り	一般	5 回	36 名	33 名	33 名
クリスマスケーキ作り (託児有)	一般	1 回	36 名	36 名	61 名
パソコン講座 初めてのパソコン	一般	8 回	15 名	12 名	12 名
パソコン講座 ワード初級	一般	6 回	15 名	15 名	31 名
パソコン講座 ワード中級	一般	10 回	15 名	14 名	15 名
パソコン講座 エクセル初級	一般	6 回	15 名	15 名	22 名
パソコン講座 エクセル中級	一般	10 回	15 名	13 名	14 名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス	一般	8 回	15 名	15 名	70 名

美和公民館
前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
アクリル絵の具による洋画講座	高校生以上	5 回	15 名	13 名	13 名
認知症予防講座 ～楽しく元気に頭と体をトレーニング～	65 歳以上	5 回	20 名	20 名	35 名
楽しいマジック教室	一般	4 回	30 名	14 名	14 名
楽しく学ぶ英会話レッスン (Writing Class)	中学生以上	5 回	15 名	11 名	11 名

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
おうちで楽しむイタリア料理講座	一般	4 回	24 名	24 名	35 名
骨盤エクササイズ	一般	5 回	20 名	21 名	77 名
認知症予防講座 ～社交ダンスをしよう～	60 歳以上	8 回	20 名	20 名	25 名
国際理解教育講座 ～もっと外国を知ろう～	一般	5 回	25 名	27 名	28 名

甚目寺公民館
前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
カラーの魅力を楽しく学ぼう	一般	5 回	20 名	19 名	20 名
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）	一般	3 回	15 名	15 名	39 名
相続のはなし	一般	3 回	20 名	38 名	39 名
ゆかた着付け（託児有）	女性	1 回	25 名	16 名	16 名
羊毛フェルトで楽しく作るストラップ①	小学生以上	2 回	20 名	10 名	10 名

羊毛フェルトで楽しく作るストラップ②	小学生以上	2 回	20 名	11 名	11 名
小学生パソコン道場	小学 4 年生～ 6 年生	1 回	10 名	12 名	12 名
楽しく学ぶ英会話レッスン 〈Speaking Class〉	中学生以上	5 回	15 名	15 名	21 名

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）	一般	3 回	15 名	15 名	29 名
着物の着付けと装い（託児有）	女性	5 回	25 名	23 名	26 名
甚目寺説教源氏節もくもく座	一般	5 回	10 名	8 名	8 名
絵画技法から見る西洋美術史	一般	1 回	15 名	14 名	15 名
親子でレザークラフト！ ～おそろいで本革製ブレスレットを作ろう～①	小学 4 年生～ 6 年生とその 保護者	1 回	10 組	1 組	2 組
親子でレザークラフト！ ～おそろいで本革製ブレスレットを作ろう～②	小学 4 年生～ 6 年生とその 保護者	1 回	10 組	中止	0 組
茶の湯に親しみましょう ～茶道入門編～	一般	5 回	15 名	17 名	21 名
親子で楽しむ筆の時間 ～新年を明るく迎えよう～①	小学 3 年生～ 6 年生とその 保護者	1 回	8 組	2 組	3 組
親子で楽しむ筆の時間 ～新年を明るく迎えよう～②	小学 3 年生～ 6 年生とその 保護者	1 回	8 組	中止	0 組
犯罪のはなし ー生活の中の意外な犯罪ー	一般	2 回	20 名	14 名	14 名

○親子ふれあい講座

小学生の親子対象の講座を開催し、共通の話題作りの機会としました。
七宝公民館
前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子スイーツデコレーション	親子	1 回	20 組	15 組 (24 名)	15 組 (24 名)
親子パン作り	親子	1 回	12 組	12 組 (24 名)	12 組 (24 名)
親子クラフト	親子	1 回	20 組	5 組 (9 名)	5 組 (9 名)

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子フラワー①	親子	1 回	15 組	7 組 (13 名)	7 組 (13 名)
親子ペーパークラフト	親子	1 回	20 組	11 組 (19 名)	11 組 (19 名)
親子アイシング	親子	1 回	20 組	20 組 (39 名)	20 組 (39 名)
親子パン作り	親子	1 回	12 組	10 組 (20 名)	10 組 (20 名)
親子お菓子作り	親子	1 回	12 組	12 組 (25 名)	12 組 (25 名)
親子フラワー②	親子	1 回	15 組	7 組 (12 名)	7 組 (12 名)

○公演・イベント事業

親子対象の事業を実施し、親子のふれあいの場を提供しました。

事 業 名	事業内容	開催日時	会 場	入場者数
親子人形劇鑑賞会	人形劇団「むすび座」公演 ・「よかったね！」 ・「びんぼう神と福の神」	平成 29 年 2 月 4 日(土) 午前 10 時 30 分～	甚目寺公民館 講義室	136 名
親子ふれあい音楽会	「アフリカンブルース」 「FIVE」 「リズムメドレー」他	平成 29 年 2 月 5 日(日) 午後 2 時～	美和文化会館 大ホール	292 名

○図書室・読書室事業

下記の事業を実施し、幼児・児童やその親が絵本などにふれあう機会を提供しました。

事業名	事業内容	回数	参加者数	会場
この本だいすきの会の よみきかせ	幼児・児童向け絵本のよみ きかせ	39回	114名	甚目寺公民館 図書室
おどうぐばこの かみしばい	幼児・児童向けかみしばい	12回	50名	甚目寺公民館 図書室
もこもこのおはなし会	親子で楽しむ絵本とわらべ うた	23回	583名	甚目寺公民館 教養室
		10回	83名	七宝公民館 和室

○ブックスタート事業

はじめての本との出会いとして、絵本を通じて親子のふれあいの時間を持つこ
との大切さと、読んでもらうことの楽しさを伝えながら、絵本を手渡しました。

事業名	回数	対象者数	会場
ブックスタート事業	11回	124名	七宝保健センター
	12回	171名	美和保健センター
	21回	408名	甚目寺保健センター

○パソコン相談室

パソコンで悩みを抱えている人達への支援策として、パソコン相談室を開きました。

開催日時	回数	参加者数	会場
4月 6日 (水) ・ 16日 (土) 5月11日 (水) ・ 21日 (土) 6月 8日 (水) ・ 18日 (土) 7月 6日 (水) ・ 16日 (土) 8月 3日 (水) ・ 20日 (土) 9月 7日 (水) ・ 17日 (土) 10月 8日 (土) ・ 12日 (水) 11月 9日 (水) ・ 16日 (水) 12月 7日 (水) ・ 14日 (水) 1月11日 (水) ・ 18日 (水) 2月 8日 (水) ・ 15日 (水) 3月 8日 (水) ・ 18日 (土) 午前10時～11時30分	24回 (2名のボランティアの協力により実施)	63名	七宝公民館 読書室
4月21日・5月19日・6月16日・7月21日・ 8月18日・9月15日・10月20日・11月24 日・12月8日・1月19日・2月16日・3月 16日 (木) 午後2時～4時	12 回 (甚目寺パソコンクラブ委託分)	50名	甚目寺公民館 児童室
6月2日(木) 7月5日・10月18日・11月15日・12月13 日・1月24日・2月8日 (火) 午後4時～5時30分	7 回 (五条高等学校パソコン部委託分)	30名	甚目寺公民館 児童室

※ 公民館事業を通じて、幅広く学習の場を提供することができました。また、健全な地域コミュニティの形成に繋がりました。

■成人式事業

成人の日を迎えたことを祝し、これから一層飛躍されることを願って、市と市教育委員会の共催により、成人式を実施しました。

- ・日時及び場所 平成29年1月8日(日)
 甚目寺地区：午前9時30分開始 甚目寺公民館大ホール
 七宝・美和地区：午前10時30分開始 美和文化会館大ホール
- ・行事の内容 式典、成人式実行委員会企画
- ・記念品 万年筆
- ・新成人 平成8年4月2日～平成9年4月1日生れ
 市内在住の新成人
- ・対象者 881人(男性434人、女性447人)
- ・参加者 671人(男性327人、女性344人)
 <参加率約76.2%>

上記の他、市外からの参加を希望した新成人
 30人(男性15人、女性15人)

※ 2会場での開催でしたが、新成人の代表者により、受付、司会、アトラクション等が行われ、記憶に残る式典となりました。

■シルバーカレッジ事業

60歳以上の方々に、学び、交流、健康づくりの場を提供するため、シルバーカレッジを開催しました。

	授業内容	開催日（全て金曜日）
1	開校式・入学式 / 落語講演「笑い与健康」	6月3日
2	あま市をもっと好きになる！ ～歴史・文化をたどる～	6月10日
3	あま市史跡めぐり①	6月17日
4	あま市史跡めぐり②	7月1日
5	めざせ「あま市ものしりマイスター」！	7月8日
6	あま市を学ぶ出前講座	7月15日
7	七宝焼を作ろう！ ～あま市文化祭作品展示に向けて～	7月22日
8	みんなで楽しく頭の体操！	8月26日
9	思いをつなぐ ～子どもたちへできることとは～	9月9日
10	「できること」からはじめるまちづくり	9月16日
11	読書で交流 ～本を読む・伝える楽しさ～	9月23日
12	ご用心！身近に潜む消費者トラブル	9月30日
13	ゼロから始めるタブレット ①タブレットを操作してみよう	10月7日
14	ゼロから始めるタブレット ②便利な機能を暮らしに活かそう！	10月14日
15	ゼロから始めるタブレット ③デジタル社会を生きる！タブレット応用編	10月21日
16	認知症ケアと回想法	10月28日
17	コミュニケーション力アップ！ たくさんの人と交流できるようになろう	11月4日
18	甚目寺説教源氏節を鑑賞しよう	11月11日

19	社会見学（犬山城）	11月25日
20	正しい口腔ケアでお口を健康に！	12月2日
21	運動不足を解消！すぐできる健康体操	12月9日
22	サクセスフルエイジング	12月16日
23	大地震に備える ～災害時にすべきこととは～	1月6日
24	卒業文集を作ろう	1月13日
25	卒業アルバムを作ろう	1月20日
26	互いに支え合う地域づくり！認知症サポーター講習 市民記者に聞く「あま市のここがすごい！」	1月27日
27	七宝みそ・しょうゆ ～食べて感じる地元の味～	2月10日
28	卒業式・卒業証書授与	2月17日

- ・会 場 シルバーカレッジ教室（美和文化会館内）
- ・時 間 午前9時30分から午後0時30分まで
- ・対 象 あま市在住・在勤の60歳以上の方
- ・入 学 生 45名
- ・申込者数 117名

※ シルバーカレッジを通して、学びや交流の場を提供することにより、地域社会の活性化や互いに助けあえる社会の構築に寄与することができました。

■家庭教育推進事業

都市化や核家族化が進み、母親は身近な子育てモデルもなく、育児不安やストレスを抱えている現状があります。親同士のつながりや子育てについての知識を広げることができるよう、幼児期家庭教育講座を開催しました。

○幼児期家庭教育講座

講 座 名	開催場所	受講者数
助産師さんと話そう ～子育てを楽にできるヒント～	七宝公民館	4名
おやこであ・そ・ぼ	美和公民館	14組 28名
親子で野菜作り PART10	あま市二ツ寺地内の畑	21組 59名
ドロンコ遊びをしよう	海部東農協・美和ライスセンターの田	29組 92名

親子で工場見学 ～七宝みそ・醤油蔵元～	佐藤醸造	13組 27名
消防署へ行こう！ ～消防署見学と応急手当～	海部東部消防署	16組 44名
大きくなったね ～お子さんの成長の記念に～（託児有）	甚目寺公民館	13組 28名
赤ちゃんと一緒にベビーダンス♪	甚目寺公民館	14組 28名
開催！芋ほり祭り	あま市二ツ寺地内の畑	15組 43名
入園前の子育てアドバイス （託児有）	甚目寺公民館	7名
おやこであ・そ・ぼ	七宝児童館	13組 26名
クリスマスを食べよう	七宝公民館	10組 20名
凧を作って遊ぼう	七宝焼アートヴィレッジ	10組 28名
飾り巻きずしを作ろう	美和公民館	10組 20名
		10組 20名

○家庭教育学級

急速な社会情勢の変化により、子どもたちを取り巻く家庭環境は大きく変化し、そのあり方が重要課題となっています。各小中学校において家庭教育学級を開催し、小中学校PTA関係者が一堂に会し、共に家庭教育について考える機会を提供しました。

学校名	主な内容
七宝小学校	実技講習（しめ縄づくり）、実習（ふれあい除草）
宝小学校	実習（親子ふれあい除草）
伊福小学校	講演（子育て講演会）、ポスター作製（伊福小すこやか子育て宣言）
秋竹小学校	実技講習（アクリルタワシ作り）、実技（親子ふれあい除草）
美和小学校	実技講習（健康体操、サンドアートグリーン作り）
正則小学校	実技（親子ふれあい除草）、実技講習会（読み聞かせ講習会）
篠田小学校	実習（親子除草活動）、実習（親子共同制作活動）

美和東小学校	講演（自己肯定感について）
甚目寺小学校	実技講習（ヨガ教室、ヨガリラックス講座）
甚目寺南小学校	実技講習（クラウトハンド作り、アレンジフラワー教室）
甚目寺東小学校	実技講習（リラックスヨガ）
甚目寺西小学校	実技講習（キッズ防犯セミナー、バランスボールエクササイズ）
七宝中学校	講演（絵本セラピー研修会）
七宝北中学校	講演（東日本大震災被災者の声を聞く会）、実技講習（天然石ジュエリー）
美和中学校	講習（PTA家庭教育講演会）、実習（クリーン作戦）
甚目寺中学校	実技講習（ハロウィン飾り作り）
甚目寺南中学校	実技講習（クリスマスリース作り）

○子育てサロン

子育て中の親子が気軽に集える場を提供しました。

開催日時	回数	参加者数	会場
8月・12月を除く月2日間 午前10時～午後0時30分	20回	153組320名	七宝公民館 和室
8月・12月を除く月3日間 午前11時～午後2時	30回	202組402名	甚目寺公民館 談話室

※ 各種事業を通して、子育ての悩みを相談したり、家庭教育について考える機会を提供しました。

■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や保護など、青少年の健全な育成を図るため、下記の事業を実施しました。

○夏期街頭パトロール

平成28年7月19日（火）～平成28年8月30日（火）の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○サマーキャンプ事業

平成28年7月30日（土）、31日（日）に夏休みを利用した「野外活動」を通じて、電気・ガス・水道等の重要性や小学校間の異学年児童たちの交流を図るあま市青少年キャンプを行いました。

○「第4回あまつり2016」夜間街頭パトロール

平成28年8月20日（土）に会場となった七宝焼アートヴィレッジ周辺の街頭パトロールを行いました。

○「あま市人権講演会」啓発

平成28年11月20日(日)にあま市人権講演会において、啓発資材(冷凍保存パック)の配布を行いました。

○冬期街頭パトロール

平成28年12月22日(木)～平成29年3月28日(火)の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○「イルミネーション点灯式」街頭パトロール

12月3日(土)美和文化会館の「イルミネーション点灯式」において、街頭パトロールを行いました。

○「家庭の日」県民運動啓発

2月1日(水)～2月28日(火)各公民館で啓発資材(使い捨てカイロ)を配布しました。スローガン「親と子の 対話がつくる よい家庭」

○中学校卒業式前夜パトロール

市内各中学校卒業式(3月3日)の前夜の平成29年3月2日(木)、校内及び会場周辺の街頭パトロールを行いました。

※ 非行に走る若者など困難な状況を抱える青少年を支援し、子ども・若者の自立を育むべく多様な交流の機会ができました。そして、大人として青少年の健全育成のためにどのような事ができるのかを考える契機となりました。

■人権教育推進事業

市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、市民が参加しやすい講演会を実施し、人権に対する正しい理解や行動を育む教育・啓発活動の推進を図りました。

○海部地区人権教育講演会(共催:あま市小中学校人権教育研究会)

人権問題に係る正しい認識と理解を深めることを目的として、他市町村の方へも広く参加を呼びかけ、講演会を実施しました。

・日 時 平成28年8月5日(金) 午後2時～4時

・場 所 甚目寺公民館大ホール

・講 師 清原 隆宣 氏
西光寺(水平社運動発祥地) 住職

・演 題 「人の世に熱と光を！」

・参加者 496名(対象/市内小中学校教職員、PTA関係者、海部地区小中学校教職員他)

※ 講演を通じて、多くの方が人権問題の正しい認識と理解を深めることができました。

■子供若者支援地域ネットワーク強化推進事業

子ども若者支援地域協議会の設立に向けての準備段階として、講演会を開催しました。

講演会

・日 時 平成28年12月15日(木) 午後2時～4時

・会 場 美和文化会館多目的ホール

・講 師 野尻 紀恵 氏
日本福祉大学准教授

・演 題 「子どもの貧困への包摂的な支援
～子ども・若者の現状が私たちに投げかける意味を捉えて～」

・参加者数 67名

講演会

- ・日 時 平成29年1月28日（土）午後2時～4時
- ・会 場 美和文化会館多目的ホール
- ・講 師 研 攻一 氏
羽陽学園短期大学名誉教授
- ・演 題 「不登校・ひきこもりを、自我の成長から考えよう」
- ・参加者数 101名

※ 講演会を通じて、子ども・若者の現状の理解を深めることができ、子ども若者支援地域協議会の設立の足掛かりとすることができました。

■社会教育団体育成事業

『あま市文化協会』

市民及び市内文化団体が日頃の芸術・文化活動の成果を発表し、あま市の文化芸術振興の推進及び文化創造の発展に寄与することを目的とし、市の文化・芸能の発展を積極的に行っている「あま市文化協会」に対し補助金を交付しました。

○第7回あま市文化祭（あま市文化協会主催）

作品生花展示、茶会

- ・日 時 平成28年11月5日（土）、6日（日）午前9時～午後4時
- ・会 場 七宝公民館、甚目寺公民館、美和文化会館
- ・参加者数 作品生花展示 文化協会44団体609名、一般参加115名
茶会 文化協会6団体

芸能発表会

- ・日 時 平成28年11月5日（土）、6日（日）午前10時～午後4時
- ・会 場 甚目寺公民館 大ホール
- ・参加者数 文化協会49団体614名、一般参加7団体118名

第7回あま市民囲碁大会

- ・日 時 平成28年11月13日（日）午前9時～午後4時
- ・会 場 甚目寺公民館
- ・参加者数 文化協会3団体62名、一般参加2名

第7回あま市民将棋大会

- ・日 時 平成28年11月13日（日）午前9時～午後4時
- ・会 場 美和文化会館
- ・参加者数 文化協会3団体44名、一般参加4名

※ 市民が文化・芸能活動に触れる機会を設けたことにより、市民の自発的な学習活動の向上を図るとともに、地域住民相互の交流を深め、文化振興に寄与することができました。

『あま市女性の会』

女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展のために、多くの女性参加が得られるような各種事業を積極的に行っている「あま市女性の会」に対し補助金を交付しました。

○夏まつり盆踊り練習会

- ・日 時 平成28年7月2日（土）午後1時～4時
- ・会 場 甚目寺公民館
- ・参加者数 100名

○主催講座「触れよう三味線」

- ・日 時 平成28年9月6日、13日、20日（火）午後2時～4時
- ・会 場 甚目寺公民館
- ・参加者数 9名

○主催講座「干支木目込人形作り」

- ・日 時 平成28年11月8日、15日、22日（火）
午前9時30分～正午
- ・会 場 甚目寺公民館
- ・参加者数 16名

○主催講座「手作り味噌の作り方」

- ・日 時 平成29年2月22日（水）午後1時30分～3時30分
- ・会 場 美和公民館
- ・参加者数 25名

※ 女性が各種事業に積極的に参加できる機会を設けたことにより、女性の社会参画や地域の交流が深まり、社会教育の発展に寄与することができました。

■歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業

市民一人ひとりの文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内各地にて各種事業を実施しました。

○企画展示会

下記のとおり、美和歴史民俗資料館にて企画展を実施、市内外より多くの来館者があり、広く市の歴史文化をPRすることができました。

企 画 展 名	開 催 場 所	開催期間	入場者数
あま市ゆかりの日本画家 「山田双年作品展」	美和歴史民俗資料館	～5月15日	545名
第26回 ときのきねんび展	美和歴史民俗資料館	5月30日～ 6月29日	2296名
企画展 「夏は夜」～夜を描いた日本画～	美和歴史民俗資料館	7月17日～ 9月25日	872名
秋の企画展示会（国民文化祭） ①あま市の文化財展 ②説教源氏節展	①美和歴史民俗資料館 ②甚目寺歴史民俗資料館	10月30日～ 12月6日	①915名 ②384名
収蔵日本画展 「酉の絵」 ～日本画に描かれたトリたち～	美和歴史民俗資料館	1月29日～ 4月2日	472名

○歴史散策事業

市内各地で執り行われる祭事、史跡や文化財をめぐる散策により、市の歴史文化を認識する機会を提供しました。

テーマ	見学地	開催日	参加者数
無形民俗文化財 「二十五菩薩お練り供養」見学	蓮華寺	4月17日	28名
下萱津のフジと周辺の散策	下萱津周辺とフジ	4月29日・30日	281名
※海部歴史研究会共催 あまてらす 主催者である海部歴史研究会は海部津島地域の7市町村の文化財担当者が協働で実施する事業。	西今宿と甚目寺	6月4日	54名

無形民俗文化財「香の物祭」見学	萱津神社	8月21日	31名
無形民俗文化財「湯の花神事」見学	木田八剱社	10月9日	15名
シルバーカレッジ推奨 歴史散策会「あま市西域をつまみぐい」	森山、丹波、蜂須賀地区	11月5日	22名
ばすたんぼう（BT） あま市巡回バス利用（甚目寺駅より散策）	甚目寺、西今宿、上萱津地区	3月14日	9名

○水文化継承事業（エコきっず調査隊）

地元の川や生物を調べることにより、あま市の水文化（田んぼ）の役割と地域と水との関わり合いを知る機会を提供しました。対象は小学生。

内容	開催日	参加者数
水質調査	8月2日	延30名
木曾川調査 協力：国土交通省木曾川下流事務所	8月10日	
エコきっずサミット 協働：蟹江町教育委員会	8月19日	

○講演会事業

市内、海部地域の歴史文化に特化した講演会を開催し、当地域の知られざる歴史文化を多くの市民に周知する機会を提供しました。

講演タイトル	講師	開催日	参加者数
甚目寺観音の祭事	堀江泰史氏（住職）	5月28日	41名
古時計の解説とその魅力について	宮崎照夫氏 （古時計コレクター）	会期中の毎土 日（8回）	64名
萱津神社の歴史と祭事	青木知治氏（禰宜）	7月16日	25名
公演会（国民文化祭） 「甚目寺説教源氏節 うばかわ姫」	もくもく座	①10月29日 ②11月20日	①59名 ②70名
歴史講演会 「尾張の鉄仏について」	青山正治氏 （元大同工大教授）	11月12日	28名
歴史講演会（国民文化祭） 「甚目寺説教源氏節について」	加納克己氏 （人形芸能史研究家）	11月26日	25名

講演会 勝幡オコワ祭について	石田正義氏（尾張西部の のオコワ祭調査委員）	12 月 11 日	29 名
海部歴史講演会 「徳川の平和を考える」	落合 功氏（青山学院大 教授）他	2 月 25 日	222 名

○歴史文化体験講座

坐禅と写経で自らを見つめ直し、古文書を解説し歴史の奥深さを学ぶ機会を提供しました。

講座名	講師	開催期日	場所	受講者数
カタロマイ 「私が古代にはまっ たわけ」	石畠重夫氏	7 月 9 日	シルバーカレッ ジ教室	30 名
坐禅に学ぶ	山田泰信氏 （菊泉院住職）	11 月 1 日・18 日、29 日（3 回）	菊泉院本堂	18 名
古文書解説講座	藤井智鶴氏	6 月 4 日、7 月 2 日、8 月 6 日、9 月 3 日、10 月 1 日、11 月 5 日、12 月 3 日、1 月 7 日、2 月 4 日、3 月 4 日（10 回）	美和歴史民俗資 料館	18 名
しめ縄教室	竹田武夫氏	12 月 18 日	美和歴史民俗資 料館	21 名

○学校支援事業 移動博物館および資料館見学

歴史民俗資料館の見学あるいは収蔵品を教室へ持ち出し、昔のくらしと生活道具についての授業を実施し、子どもたちに当地域のかつての暮らしぶりを伝え、考えてもらう機会を提供しました。

実施日	学校名	内容
12 月 16 日	秋竹小	移動博物館
1 月 10 日	篠田小	移動博物館
1 月 13 日	甚目寺西小	移動博物館
1 月 16 日	甚目寺東小	移動博物館
1 月 17 日	甚目寺南小	甚目寺歴史民俗資料館見学
1 月 20 日	伊福小	移動博物館
1 月 23 日	宝小	移動博物館
1 月 24 日	美和小	美和歴史民俗資料館見学
1 月 27 日	正則小	移動博物館
2 月 7 日	美和東小	移動博物館

2月10日	七宝小	移動博物館
2月17日	甚目寺小	甚目寺歴史民俗資料館見学

- ・対 象 3年生児童
- ・持ち出し資料 蚊帳、箱膳、ひのし、いずみ、釜、電話機、徳利、尋常小学校教科書など10点ほど。その他、学校側の要望に応じ適宜持ち出す。

○検定事業

検定を通してあま市の歴史文化を多くの人々に、主体的に学んでもらう機会を提供しました。

第5回あま市ものしりジュニア検定

- ・期 間 平成28年12月下旬～29年1月下旬
- ・会 場 市内各小学校
- ・対 象 小学6年生
- ・受 検 者 850名
- ・平均点 18.1点（25点満点）

実施日	学校名	内容	
12月12日	七宝小	あま市ものしりジュニア検定講習会	
12月13日	正則小		
12月14日	秋竹小		
12月16日	甚目寺小		
12月19日	宝小		
1月12日	甚目寺東小		
1月13日	美和東小		
1月17日	伊福小		
1月18日	美和小		
1月19日	甚目寺西小		
1月20日	篠田小		↓

あま市ものしりジュニア選手権

- ・日 時 平成29年2月19日（日）午前10時30分～午後4時
- ・参加者数 33名（三人一組で申込み）
- ・対 象 市内小学4年～6年生児童
- ・会 場 シルバーカレッジ教室

第7回あま市ものしり検定

- ・日 時 平成29年3月5日（日） 午後2時～
- ・会 場 シルバーカレッジ教室
- ・受 検 者 41名
- ・合 格 者 38名
- ・備 考 3月4日（土）、シルバーカレッジ教室にて事前講習会を実施し、31名が参加しました。検定合格者にはオリジナルのピンバッジを贈呈し、過去4回以上の合格者に対し、あま市ものしりマスターの称号を贈りました。

○文化財保護啓発事業

<公開>

県天然記念物 下萱津のフジ公開事業

- ・公開日 平成28年4月29日(金)、30日(土)
- ・協力 下萱津区、下萱津老人クラブ連合会
- ・見学者 281名

<指定物件の名称変更>

普明院所蔵の「鉄蔵阿弥陀如来立像」(市指定)の名称を「金銅阿弥陀如来立像」に変更し、保存先をあま市美和歴史民俗資料館としました。

<保護>

第63回文化財防火デー・甚目寺観音消防訓練

- ・日時 平成29年1月26日(木) 午前10時～11時
- ・参加者 海部東部消防署20名、市消防団8名、甚目寺観音自衛団10名

<調査>

オコワ祭の民俗調査(市指定無形民俗文化財)

- ・調査団体 尾張西部のオコワ祭映像記録作製委員会
同委員会を設立し、オコワ祭りの映像化のために必要な素材を撮影しました。

○刊行物

あま市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行し、地域の魅力について情報を発信しました。

タイトル	内 容	備 考
資料館だより ニュースレター007号	歴史民俗資料館事業報告、資料館ニュースなど	A4版、6頁 1,000部

※ 歴史・文化・伝統の学習の場を設けることにより、郷土への理解と郷土愛を育む契機となりました。また、消防訓練の実施により、文化財保護意識の高揚の一助となりました。

■社会教育施設整備事業

生涯学習活動の拠点となる公民館の整備・充実を図るために次の整備工事を実施しました。

○甚目寺公民館冷温水発生機更新工事

- ・事業内容 冷温水発生機及び関連する空調機器を更新し、これに伴う配管・電気工事の施工及び既設空調機器の部品交換を行いました。
- ・事業費 51,030,000円

○甚目寺公民館大ホール控室システムパッケージエアコン更新工事

- ・事業内容 大ホール練習室及び控室のパッケージエアコン計3台の更新を行いました。
- ・事業費 1,188,000円

※ これらの工事を実施したことにより、施設利用者に快適な施設環境を提供することができました。

■美和文化会館事業

○文化教室

事業名	開催日	定員	受講者数	申込者数	会場
アロマヨガ（6回コース）	4月1日・15日、5月6日・20日、6月3日・17日（金）	25名	19名	19名	アートスペースM
初心者向けのやさしいヨガ（6回コース）	4月13日・27日、5月11日・25日、6月8日・22日（金）	25名	25名	25名	アートスペースM
アロマヨガ（6回コース）	7月1日・15日、8月5日・19日、9月2日・16日（金）	25名	17名	17名	アートスペースM他
ワイプケース・ウェットティッシュケースデコレーション	7月2日（土）	20名	7名	7名	アートスペースM
初心者向けのやさしいヨガ（6回コース）	7月13日・27日、8月10日・24日、9月14日・28日（水）	25名	25名	25名	アートスペースM他
夏休み子ども絵画教室	7月29日（金）	40名	40名	40名	多目的ホール
夏休み子ども書道教室	8月6日（土）	20名	20名	20名	多目的ホール
ブリキ缶にデコパージュ	8月20日（土）	15名	5名	5名	多目的ホール
アロマヨガ（6回コース）	10月7日・14日、11月11日・25日、12月2日・16日（金）	25名	13名	13名	アートスペースM他
初心者向けのやさしいヨガ（6回コース）	10月12日・26日、11月16日・30日、12月14日・21日（水）	25名	27名	27名	アートスペースM他
デコパージュでオリジナルバッグ作り（親子）	11月20日（日）	15（組）	14名	10（組）	多目的ホール
マカロンタワーのキャンディポット（親子）	11月26日（土）	10（組）	17名	9（組）	多目的ホール
初心者向けのやさしいヨガ（6回コース）	1月11日・25日、2月8日・22日、3月8日・22日（水）	25名	27名	27名	アートスペースM
アロマヨガ（6回コース）	1月13日・20日、2月3日・17日、3月3日・17日（金）	25名	16名	16名	アートスペースM

○ワンコインコンサート

事業名	出演者（敬称略）	開催時期	参加者数	会場
愛知県立芸術大学管弦楽団 親子で聴ける♪オーケストラ	指揮 松尾葉子	6月18日（土）	583名	大ホール

○その他イベント

事業名	出演者（敬称略）	開催時期	参加者数	会場
愛知県立芸術大学管弦楽団 特別演奏会	指揮 松尾葉子	6月19日(日)	439名	大ホール
クリスマスジャズコンサート	A Team Big Band エレノア・ シー	12月4日(日)	575名	大ホール
あま市民絵画展	平松春夫	12月9日(金) ～18日(日)	45名	アートス ペースM
文化の杜ミュージカルショー	高蔵高等学校・中学 校演劇部	12月18日 (日)	373名	大ホール
二日間だけの名画座	おかしな奴 他3本	3月4日(土) ～5日(日)	283名	大ホール
愛知室内オーケストラ ファミリーコンサート 共演者ワークショップ	愛知室内オーケス トラ楽団員・大治中 学吹奏楽部員	3月18日(土)	20名	大ホール
愛知室内オーケストラ ファミリーコンサート	指揮 新田ユリ	3月19日(日)	230名	大ホール

※ これらの講座・イベント等の開催により、文化・芸術に親しむ機会を提供しました。

■美和図書館事業

下記のとおり企画展示や各種講座・講演会、読み聞かせ会などを開催し、図書館利用の促進を図りました。

○企画展示

事業名	実施内容	期 間	会 場
企画展示	「能狂言面展」 神島田面打会のメンバーの方に能面作品をお借りし 展示した。	4月2日～ 6月26日	図書館内 展示ケース
	「羊毛フェルト展・小さな動物園展」 「アトリエ和加葉」の服部加世さんから作品をお借り し展示した。	7月10日～ 9月30日	
	「絵手紙展・手書きの手紙を出そう展」 絵手紙教室の講師である近藤喜奴子さんから作品を お借りし展示した。	10月6日～ 12月17日	
	「郷土玩具・酉展」 美和図書館所蔵の大照コレクションより鳥の郷土玩 具の展示を実施した。	1月4日～ 2月4日	
	「郷土玩具ひな人形」展 美和図書館所蔵の大照コレクションより、ひな人形 の郷土玩具の展示を実施した。	2月5日～ 3月31日	

○講座・講演会・読み聞かせ

事業名		実施内容	回数	参加者	会場
春の図書館まつり	ブックリサイクル	本の有効活用を図るために、一般家庭で不要になった本や当館所蔵の廃棄した雑誌をボランティアの協力を得て無償で提供した。	1回	約300名	美和文化会館 1階ロビー
	グー・チョキ・パーのおはなし会&工作	図書館ボランティアにより幼児・児童むけおはなし会と工作を行った。	1回	63名	美和文化会館 1階ロビー
	映画鑑賞会	「日本むかしばなし」 「シリウスの伝説」	1回	73名	美和文化会館 多目的ホールABC
	鉄道模型展示走行会	鉄道模型をレールやミニチュアの景色の中走らせた。(尾張鉄道倶楽部)	1回	119名	美和文化会館 アートスペースM
	おもちゃ病院	モリコロおもちゃ病院にて壊れたおもちゃの修理を行った。	1回	25名	美和文化会館 2階ロビー
ワークショップ		「ちくちく手づくりの会」 「一日図書館員」 「ねこのバックチャームをつくろう」 「はじめての読み聞かせ」 「心も体も健康に！！」 「プロが教えるシニア体操」 「図書館のクリスマスディスプレイを作って飾ろう！」 「本のフィルムコーティング」 「ipadでアニメをつくろう」	10回	延126名	美和文化会館 会議室 多目的ホールC 美和図書館内
おすもうさんとあそぼう		山分親方他力士2名に来て頂き、おすもうの歴史や習慣などについてお話していただいた後、技のデモンストレーションと子どもとのふれあいずもうなど行った。	1回	101名	美和文化会館 多目的ホールABC
講演会	「子どもの本を楽しむ会」 演題「絵本で子育て」 講師に絵本作家正高もとこ氏をお迎えし、子育てと絵本との関わりについての講演会を行った。		1回	70名	美和文化会館 多目的ホールABC
	演題「家康・小六・宗春と尾張名古屋の底力」 講師に東海学園大学教授・南山大学名誉教授の安田文吉氏をお迎えし、この地区ゆかりの武将や産業、文楽など多岐にわたるお話をいただいた。		1回	88名	美和文化会館 多目的ホールABC
	演題「これからの時代の老後を生きるヒント」 講師に株式会社地暮代表取締役の中村聡樹氏をお迎えし、老後にそなえる事についての講演会を行った。		1回	68名	美和文化会館 多目的ホールABC

秋の図書館まつり	ブックリサイクル	本の有効活用を図るために、一般家庭で不要になった本や当館所蔵の廃棄した雑誌をボランティアの協力を得て無償で提供した。	1回	約300名	美和文化会館 1階ロビー
	グー・チョキ・パーのおはなし会&工作	図書館ボランティアにより幼児・児童むけおはなし会と工作を行った。	1回	96名	美和文化会館 多目的ホールABC
	本の福袋貸し出し	図書館員おすすめの図書3冊を書名がわからない状態で袋に入れ、袋ごと貸出を行った。	1回	25名	美和図書館内
	バルーンアート	あまレクレーション協会の協力により風船で作った動物や剣などを配布した。	1回	100名	美和文化会館 1階ロビー
	対面朗読	音読あまの方が目の不自由な方向けに対面朗読をPRした。活動に興味を持った方に説明を行った。	1回	若干名	美和文化会館 1階ロビー
	ふれあいコンサート	ジェム弦楽四重奏団によるクラシック、ポップスの演奏を行った。	1回	123名	美和文化会館 多目的ホールABC
	わたしの一押し本展示	利用者がかいたおすすめ本の紹介文や読書感想画の展示を行った。	1回	63名	美和図書館内
	図書館ラリー	図書貸出、輪投げ、的当てゲームを行うと飴のつかみ取りが出来るラリーを行った。	1回	87名	美和文化会館 1階ロビー
	おもちゃ病院	モリコロおもちゃ病院にて壊れたおもちゃの修理を行った。	1回	22名	美和文化会館 2階ロビー
	鉄道模型展示走行会	鉄道模型をレールやミニチュアの景色の中走らせた。(尾張鉄道倶楽部)	1回	200名	美和文化会館 アートスペースM
絵手紙教室		近藤喜奴子氏と山田紀子氏を講師に招き絵手紙の教室を行った。	1回	18名	美和文化会館 多目的ホールAB
図書館見学		美和東小学校2年生 正則小学校2年生 美和小学校2年生 七宝北部保育園 新居屋保育園 篠田保育園	6回	延297名	美和図書館内
職場体験学習		七宝中学校2年生 七宝北中学校2年生 美和中学校2年生 甚目寺南中学校2年生 甚目寺中学校2年生	5回	延24名	美和図書館内
たなばたかざり		利用者に短冊に願い事を書いてもらい笹に飾った。	1回	85名	美和文化会館 1階ロビー
読書ラリー		期間中の図書貸出利用が5回、8回に及んだ利用者に対し、賞品を付与。	1回	延788名	美和図書館内
学習室開設		夏休み期間中、学生のための学習室を開設した。	1回	延615名	美和文化会館 アートスペースM
インターンシップ受入		あま市在住の西陵高校の生徒の職場体験を実施した。	1回	1名	美和図書館内
シルバーカレッジ		あま市シルバーカレッジ生徒向け読書会	1回	45名	美和文化会館 多目的ホールABC

研修会	教職員の海部地区東ブロック 図書研修会にて講師として 「本のディスプレイと本の修 理」を行った。	1回	20名	美和図書館内
もこもこのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべう た、紙芝居等	45回	延1,472名	美和図書館内 おはなしコーナー
グー・チョキ・パーのおは なし会	絵本の読み聞かせ、わらべう た、紙芝居、工作、お手玉あ そび、手あそび、ストーリー テリング等	14回	延439名	美和図書館内 おはなしコーナー 他
お楽しみおはなし会	絵本の読み聞かせ、紙芝居、 わらべうた等	23回	延352名	美和図書館内 おはなしコーナー
出張読み聞かせ	絵本の読み聞かせ、紙芝居、 わらべうた、手遊び等	66回	延3,195名	・子育て支援センター （11回、延302名） ・つどいの広場 （11回、延255名） ・七宝北部保育園 （2回、延48名） ・正則保育園 （12回、延614名） ・篠田保育園 （12回、延550名） ・七宝子ども園 （5回、延210名） ・ひかり保育園 （2回、延308名） ・美和保育園 （5回、延286名） ・青山幼稚園 （3回、延347名） ・七宝幼稚園 （1回、延60名） ・中川幼稚園 （1回、延165名） ・木田幼稚園 （1回、延50名）
ブックスタート出張読み聞 かせ	乳児健診の親子に対して読み 聞かせとわらべうたを歌う。 また、読み聞かせの重要性の 説明や図書館等の利用案内を 行い、ブックスタートパック を手渡した。	12回	171名	美和保健センター
おはなしをきく会	年長児以上を対象にストーリ ーテリングを行った。	2回	延52名	美和図書館 おはなしコーナー

○読書ボランティア講座

事業名	事業内容	開催日	参加者	会場
ブックスタートボランティア養成講座	・あま市の赤ちゃんに絵本の時を	9月21日	13名	美和公民館 会議室
	・ブックスタートについて ・乳児健診について	9月28日	12名	美和公民館 会議室
	・ブックスタート見学	10月12日	13名	甚目寺保健 センター
	・実践！絵本を読む ・今後ブックスタートでボランティアを行うには	10月19日	12名	美和公民館 会議室

※ これらの事業、読み聞かせ等を通じて、本を読む楽しさを伝えることができました。

■文化施設整備事業

文化振興の拠点となる文化会館の整備・充実を図るために次の整備工事を実施しました。

○美和文化会館外壁改修工事

- ・事業内容 美和文化会館の外壁タイル部とモルタル部にひび割れが出来ており、利用時及び災害時にタイルが落下し、利用者に危険を及ぼす可能性があり、安全を確保するために改修工事を行いました。

- ・事業費 40,273,200円

※ この工事を実施したことにより、文化会館利用者に安全安心な施設環境を提供することができました。

(3) スポーツ課

■スポーツ教室

市民のニーズにあった教室を開催し、継続的な運動に対するきっかけづくりとするとともに、より一層の健康増進・体力向上と心身の健全な発達をもって、明るく健康的な市民生活を提供することを目的として、各種スポーツ教室・講座事業を実施しました。

教室名	期間	実施場所	回数	対象	参加者数	内容
親子体操教室（前期）	5月17日～ 7月5日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	20組	親子と一緒に鉄棒・マット運動・跳び箱等を行い、運動の基本を習得することを目的として実施しました。
親子体操教室（後期）	10月11日～ 11月29日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	25組	
親子体操教室①	6月7日～ 2月14日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	14組	
親子体操教室②	6月14日～ 2月21日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	23組	
親子体操教室③	6月14日～ 2月21日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
ボクシングエクササイズ教室	5月24日～ 6月28日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	29名	ボクシングエクササイズを通して健康な生活を送ることを目的に実施しました。
肩こり・腰痛ケアストレッチ教室	10月25日～ 11月29日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	29名	各家庭でも行える肩こり・腰痛のケアストレッチを目的に実施しました。
ふれあいスポーツ～子ども体育教室～①	10月6日～ 12月15日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	学童の成長や発達過程から「動作の習熟」を主眼に置き、楽しくからだを動かすことを目的として実施しました。
ふれあいスポーツ～子ども体育教室～②	10月6日～ 12月15日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	
はつらつ健康教室～シニア運動教室～	10月6日～ 12月15日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	60歳以上	10名	高齢者が自らの体力・健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活を送れることを目的として実施しました。
健康・体力づくり教室～総合体育館トレーニング室を利用しよう～	10月1日～ 11月26日 毎週土曜日	甚目寺 総合体育館	8回	中学生以上	10名	トレーニング室を利用し、器具の正しい使い方、効果的なトレーニング方法の習得を目的として実施しました。
小学生スポーツ教室（団体スポーツ教室）	8月2日～ 8月30日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	5回	小学生	30名	小学生を対象にドッジボールを行いながら、団体で行動することの楽しさを教える教室を実施しました。
小学生スポーツ教室（団体スポーツ教室）	8月3日～ 8月31日 毎週水曜日	甚目寺 総合体育館	5回	小学生	30名	

※ 各年齢層にあわせた教室を開催したことで、より多くの市民にスポーツや運動の機会を提供することができました。また、基礎的な教室を多く開催したことにより、スポーツ人口の裾野を広げ、市民の健康増進や体力向上に資することができました。

■スポーツ行事・大会

スポーツを通じた市民のふれあいや親睦、また、目的を持ったスポーツ活動や市民の更なる高次元の運動意欲を引き出すことにより、街の活性化とスポーツの振興を目指すことを目的として、各種体育事業を実施しました。

行事・大会名	期日	曜日	実施場所	参加者数	内容
市民ラジオ体操の集い	5月22日	日	美和中学校運動場	272名	基本的な体操であるラジオ体操をもう一度見直し、ラジオ体操にふれあう機会を持ち、広く市民に普及することを目的として実施しました。
	6月26日	日	甚目寺総合体育館(野外ステージ)	223名	
	7月24日	日	七宝北中学校運動場	380名	
市民歩け歩け会	10月30日	日	恵那市岩村町	124名	あま市外にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施しました。
背割堤ランニング大会	11月6日	日	木曽三川公園	132名 (うち、あま市参加者22名)	木曽三川公園主催事業で実施していた本大会を後援とすることで、市民の健康及び体力の保持・増進を目的に実施しました。
市民走ろう歩こう会	1月29日	日	木曽三川公園東海広場	473名	木曽三川公園にて走ったり歩いたりして、健康及び体力の保持・増進を目的に実施しました。

※ 市民に広くスポーツに親しんでいただくことで、より一層親睦が深まり、あま市としての地域のつながりや街の活性化に資することができました。

■その他スポーツ事業

○夏休み学校プール開放事業

小中学校の夏休み期間中、児童生徒及び付添いの保護者を対象に、小学校プールを活用したプール開放事業を実施しました。

事業名	期日	実施場所	参加者数	内容
夏休み学校プール開放事業	8月7日～8月21日	七宝小学校 美和小学校 甚目寺南小学校	延1,247名	小中学校の夏休み期間中、児童生徒の体力向上と健康増進を図るため、市内在住の小中学生及び付添いの保護者を対象に七宝小学校、美和小学校、甚目寺南小学校の学校プールを活用して実施しました。

※ プール開放事業を実施したことにより、児童生徒の体力向上と健康増進に資することができました。

○総合型地域スポーツクラブ
《年間講座》

種目	時間帯等	場所	対象	参加者数
らくらくダイエットA	毎月第1・3火曜日 13時30分～15時	甚目寺総合体育館 会議室1・2	一般	9名
らくらくダイエットB	毎月第2・4火曜日 13時30分～15時	甚目寺総合体育館 会議室1・2	一般	13名
ママ・フィットネスA	毎月第1・3水曜日 13時～14時	甚目寺総合体育館 剣道場	一般女性	4名 9月末に休講
ママ・フィットネスB	毎月第2・4水曜日 13時～14時	甚目寺総合体育館 剣道場	一般女性	4名 9月末に休講
子ども体操（リズム体操）A	毎月第1・3水曜日 16時～17時	甚目寺総合体育館 剣道場	小学1・2年生	10名
子ども体操（リズム体操）B	毎月第2・4水曜日 16時～17時	甚目寺総合体育館 剣道場	年中・年長	21名
ラージボール卓球A	毎月第1・3水曜日 10時～11時30分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	22名
ラージボール卓球B	毎月第2・4水曜日 10時～11時30分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	24名
スポーツ吹き矢	毎月第2・4木曜日 13時30分～15時	上萱津コミュニティ防災 センター 1階研修室	一般	14名
ダンベルエクササイズA	毎月第1・3木曜日 10時30分～正午	美和文化会館 多目的ホール	一般	32名
ダンベルエクササイズB	毎月第2・4木曜日 10時30分～正午	美和文化会館 多目的ホール	一般	32名
シルバーエクササイズ（ライ フワークフィットネス）	毎月第1・3金曜日 10時～11時30分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	60歳以上	26名
硬式卓球A	毎月第1・3金曜日 13時30分～15時	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	42名
硬式卓球B	毎月第2・4金曜日 13時30分～15時	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	38名
夜間卓球	毎月第1・3金曜日 19時～20時30分	七宝中学校体育館	一般	23名
ジュニアバレーボールA	毎月第1・3金曜日 19時～20時30分	七宝北中学校体育館	中学生	39名
ジュニアバレーボールB	毎月第2・4金曜日 19時～20時30分	七宝北中学校体育館	中学生	34名
子ども体操（ニュースポーツ）	毎月第2・4土曜日 13時30分～14時30分	美和公民館 講堂兼体育場 他	小学生	6名
ジュニア卓球A	毎月第1・3土曜日 19時～20時30分	七宝中学校体育館	中学生	24名
ジュニア卓球B	毎月第2・4土曜日 19時～20時30分	七宝中学校体育館	中学生	24名
バドミントン入門	毎月第1・3土曜日 19時～20時30分	七宝北中学校体育館	小学3年 以上	27名
ノルディックウォーキング	毎月第2・4日曜日 9時～10時30分	七宝焼アートヴィレッジ ふれあい広場	一般	27名

《特別講座》

種目	時間帯等	場所	対象	参加者数
ビューティーヨガ（前期）	5月27日～7月22日の金曜日 全8回 19時～20時	七宝総合体育館 剣道場	一般女性	30名
ビューティーヨガ（後期）	10月14日～12月2日の金曜日 全8回 19時～20時	七宝総合体育館 剣道場	一般女性	19名
夏休みこどもわくわくクラブ	7月27日～8月25日の水・木曜日 全5回 9時30分～11時	クラブ事務所横ホール ※8月25日は七宝総合体育館 アリーナ	小学生	15名
生き生きはつらつ介護予防教室（前期）	5月26日～7月28日の木曜日 全5回 13時30分～15時	美和情報ふれあいセンター 学習室	一般	10名
生き生きはつらつ介護予防教室（後期）	10月6日～12月1日の木曜日 全5回 13時30分～15時	甚目寺公民館 会議室	一般	13名
自分で作れるアロマグッズ	10月7日～12月9日の金曜日 全5回 13時30分～15時	甚目寺公民館 3階視聴覚室	一般	4名
季節を折る（折り紙講座）	10月14日・11月18日の金曜日 全2回 13時30分～14時30分	甚目寺公民館 3階視聴覚室	一般	9名

《イベント事業》

種目	時間帯等	場所	対象	参加人数
第1回あまちゃん二三四会（硬式卓球）	5月28日（土）、29日（日）	七宝総合体育館 アリーナ	一般	240名
第2回あまちゃんラージボール卓球大会	6月25日（土）	七宝総合体育館 アリーナ	一般	284名
第3回ラダーゲッター大会	9月4日（日）	七宝総合体育館 アリーナ	小学生以上	31名
第1回あまちゃんお楽しみ団体戦（卓球大会）	9月24日（土）	七宝総合体育館 アリーナ	一般	225名
3周年記念イベント	2月19日（日）	甚目寺総合体育館メインアリーナ	小学生以上	103名

■社会体育施設整備事業

市民が安全かつ快適にスポーツ活動を実施できるよう、体育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

○甚目寺総合体育館 空調制御設備及び冷却塔ポンプ（R2）更新工事

- ・事業内容 経年劣化により、空調制御設備及び冷却塔ポンプ（R2）を更新し、これに伴う配管、電気工事の施工及び既設空調機器の備品交換を行ないました。

- ・事業費 24,829,200円

※ この工事を実施したことにより、快適な施設環境を提供することができました。

○甚目寺総合体育館 照明制御設備改修工事

- ・事業内容 照明機器を制御する制御盤が経年劣化により制御が不可能となる恐れがあるため、それを改修しました。

- ・事業費 10,510,344円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○グラウンド整備

- ・事業内容 グラウンドの凍結防止及び土の飛散防止を目的として塩化カルシウムの散布とグラウンドの不陸を修正する整備工事を実施しました。
- ・事業費 1,069,200円
 - ※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○美和プール解体工事

- ・事業内容 現在使用していない美和プールの解体を行ないました。
- ・事業費 195,597,720円

(4) 学校給食センター課

■学校給食事業

学校給食センター課では、各小中学校や様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

○親子料理教室

親子で調理をすることで、家庭での食に対する関心を高めるために、親子料理教室を開催し、給食で人気の献立や、家庭で簡単に作ることのできる料理を題材とした調理実習を通して、調理の楽しみを体験し、学校給食や食に対する理解を深めました。

事業名	場 所	開催日	受講者数	申込者数
親子料理教室	七宝公民館	8月10日	18組41名	51組
親子料理教室	美和公民館	8月10日	12組28名	57組

※ 児童は料理教室を通して、調理をすることの楽しみを味わうことができ、保護者と一緒に作ることで、家庭での食に対する興味・関心が高まり、家族の一員としての意識を向上することができました。

○学校における食に関する指導の実施

児童生徒の食への興味・関心を高め、食に関する知識の向上を目指し、栄養教諭・学校栄養職員が各学校にて、学級担任とTT授業を行ったり、給食時に給食を生きた教材として指導しました。また、毎月献立表や給食だより、盛り付け図などを配布することに加え、学期毎に保護者及び教職員を対象に食育だより・食育メッセージを発行し、給食を通して食への関心を高めました。

※ 学校給食の献立作成等に携わる栄養教諭・学校栄養職員が直接指導することにより、児童生徒の食への興味・関心を高めることができ、各学級を巡回し、児童生徒が食べている状況を見たり、話をしたりすることで現状が把握でき、献立に取り入れることができました。

● 栄養教諭・学校栄養職員が毎日学校に出向いて直接指導することが困難なため、平成29年度から3センター統一の小学校向け放送原稿を作成し、「調理員や生産者への感謝の気持ち」、「献立の説明」、「食材の豆知識」など給食時間内に放送し食育を推進していきます。

○学校における健康教育への参加

各学校の健康教育の取組に参加しました。

- ・学校保健委員会 七宝小学校、甚目寺小学校、甚目寺西小学校
- ・給食試食会 七宝小学校、宝小学校、伊福小学校、秋竹小学校、美和小学校、正則小学校、篠田小学校、美和東小学校、甚目寺小学校、甚目寺南小学校、甚目寺東小学校、甚目寺西小学校、七宝中学校、七宝北中学校、美和中学校、甚目寺中学校、甚目寺南中学校

※ 栄養教諭・学校栄養職員が関わることで、食を話題として取り上げる機会が増え、児童生徒・教職員が食への関心を持つことで、保護者の興味が高まり、家庭での食に対する関心を期待することができました。

○学校給食センター活動状況

開催日	行事名
4月 8日 (金)	5月分献立検討会
4月15日 (金)	5月分物資選定委員会
5月 2日 (月)	6月分献立検討会
5月19日 (木)	6月分物資選定委員会
6月 1日 (水)	7月分献立検討会
6月14日 (火)	7月分物資選定委員会
7月 1日 (金)	9月分献立検討会
7月 4日 (月)	第1回学校給食センター運営委員会
7月27日 (水)	9月・2学期分物資選定委員会
9月 2日 (金)	10月分献立検討会
9月14日 (水)	10月分物資選定委員会
10月 4日 (火)	11月分献立検討会
10月18日 (火)	11月分物資選定委員会
11月 4日 (金)	12月分献立検討会
11月15日 (火)	12月分物資選定委員会
12月 2日 (金)	1月分献立検討会
12月14日 (水)	1月・3学期分物資選定委員会
12月20日 (火)	2月分献立検討会
1月17日 (火)	2月分物資選定委員会
2月 1日 (水)	3月分献立検討会
2月15日 (水)	3月分物資選定委員会
3月 1日 (水)	4月分献立検討会
3月10日 (金)	第2回学校給食センター運営委員会
3月14日 (火)	4月・1学期分物資選定委員会

■学校給食センター施設整備事業

安全安心に学校給食を提供するために、次の整備事業を行いました。

○新学校給食センター基本計画策定業務及び発注者支援業務

新学校給食センターの平成31年度供用開始を目指すにあたって、より良いセンターとするため、専門的知識を活用しました。

- ・事業内容 基本計画策定業務及び発注者支援業務
- ・事業費 8,399,160円

※ この業務を発注したことにより、専門的知識の活用ができ、新学校給食センター整備事業の基本計画及び整備事業者特定資料を作成することができました。

○美和及び七宝学校給食センター調理機器等修繕工事

安全安心な給食提供を維持するため、経年劣化が著しい、調理機器の修繕工事を実施しました。

- ・事業内容 七宝及び美和学校給食センターの調理機器修繕工事
- ・事業費 4,644,000円

※ この工事を実施したことにより、調理機器の不具合が改善され、安全安心に学校給食を提供することができました。

○美和学校給食センター給水ポンプ取替修繕工事

安全安心な給食提供を維持するため、給水ポンプの不具合を是正する取替工事を実施しました。

- ・事業内容 給水ポンプの取替修繕工事
- ・事業費 1,296,000円

※ この工事を実施したことにより、給水ポンプの不具合が改善され、安全安心に学校給食を提供することができました。

○甚目寺学校給食センター調理室屋上ルーフベンチレーター取替等工事

経年劣化が著しく、このままでは、屋上からの異物混入の危険があることから、ルーフベンチレーターの不具合を是正する取替工事を実施しました。

- ・事業内容 ルーフベンチレーターの取替修繕工事
- ・事業費 1,198,800円

※ この工事を実施したことにより、ルーフベンチレーターの不具合が改善され、安全安心に学校給食を提供することができました。

○甚目寺学校給食センター蒸気配管取替修繕工事

蒸気配管の劣化により、蒸気漏れが発生し、早急な復旧が必要であることから、取替工事を実施しました。

- ・事業内容 蒸気配管の取替修繕工事
- ・事業費 1,188,000円

※ この工事を実施したことにより、蒸気配管の不具合が改善され、安全安心に学校給食を提供することができました。

○甚目寺学校給食センターエアーカーテン取替工事

エアーカーテンの劣化による異物混入の危険を阻止するため、不具合を是正する取替工事を実施しました。

- ・事業内容 エアーカーテンの取替修繕工事
- ・事業費 945,000円

※ この工事を実施したことにより、エアーカーテンの不具合が改善され、安全安心に学校給食を提供することができました。

7. 学識経験者による意見

学識経験者名	平野 隆雄（元弥富市立桜小学校長、あま市内在住）
--------	--------------------------

都市化、少子化の進展や経済的な豊かさの実現などが進む昨今、家庭や地域の教育力の低下、学校におけるいじめ不登校の問題、児童生徒の学ぶ意欲や学力・体力の低下、規範意識や道徳性の低下、生徒指導上の問題行動など、様々な教育課題が指摘されている。

一方、大人社会に目を向けると、地方議員や国家議員の疑惑や教員を含む公務員の不祥事など、社会において責任ある立場の者の事件が、新聞やテレビ等で報道されている。これらは、児童生徒の健全育成にとって負の教育環境でしかない。

このような一般情勢の中、あま市においては、市長と教育委員会が教育課題を共有し、未来を見据えて、時代の変化に対応する教育行政を積極的に展開している。平成28年3月18日には市長と教育委員会とで構成する「総合教育会議」において、「あま市教育大綱」が策定された。

今後は、この「あま市教育大綱」に示された教育分野の6つの重点施策の着実な具現化に向け、教育の担い手であるべき学校・家庭・地域の役割・立場を見直すとともに、三者の連携を強化する教育行政の実現を期待して止まない。

○ 学校教育課について

1 スクールサポーター配置事業

児童生徒に確かな学力をつけることは、あま市教育大綱の重点施策の1つである。とりわけ、障がいのある児童生徒や、特別な支援を必要とする児童生徒に対する個に応じたきめ細かい学習支援等の必要性は増している。あま市スクールサポーター配置事業の成果を検証しつつ、一層の充実を望みたい。

2 英語教育の推進

平成32年度に完全実施される次期学習指導要領において、英語が教科として本格的に導入され、小学校3、4年で35時間、小学校5、6年で70時間の授業が始まる。あま市では小中学校（以下各校）の英語指導助手配置も進み、生きた英語が響く環境が整いつつある。また、年3回市内外国語部会を開催し、外国語活動への取り組みについて情報交換がなされている。今後、外国語指導に関する教員の指導力向上と英語指導助手との連携を深める研修など体制づくりを望みたい。

3 教育相談センター事業

「学校教育支援」「教育相談活動」「不登校などの指導及び支援」を3つの柱として事業を行っている。

学校支援事業では、「教育アドバイザー派遣事業」「教師力パワーアップ講座」を展開し、教師の研修を進めている。これらは、学級経営力・授業力はもとより、教師が日々直面する悩みや課題を解消、解決することができる教師力養成に大きな力となっている。初任者や若い先生を対象とした「あま教師塾」とともに、教師の資質・教師力向上を目指すあま市の教員研修はとても充実している。この研修で得た知識や技能を生かした、

さらなる自己研鑽と各校での教師相互の切磋琢磨を期待したい。

いじめ不登校問題等の教育相談や適応指導教室の必要性・重要性が高まる中、教育相談センター事業は、着実に成果を上げている。特に、学校不適応児童生徒への支援は、専門員による児童生徒や保護者に対する適切な助言と指導、心理支援相談、面接相談と職員の熱意ある対応が成果を上げ、多くの児童生徒の自立及び学校生活への自発的復帰、そして、卒業後の社会復帰を実現している。今後もいじめ不登校問題の解決、解消に向けて、あま市適応指導教室事業のさらなる充実を期待したい。

4 小中学校適正規模見直し検討事業

この検討事業では、結論を急がず、検討委員会で十分な審議を行うことが肝要である。将来的な児童生徒数の推移はもちろんのこと、学校規模の適正化によるメリット・デメリットを踏まえ、当該学区の保護者や地域住民のコンセンサスを得られるような様々な視点から考え抜いた具体案を提示しなければならない。したがって、地域の関係者や各界の識者等の検討委員会へのオブザーバー参加やアドバイザリ参加を認めるなどの弾力的な方策もとっていききたい。

学校選択制の導入については、あま市全域における自由選択性ではなく、特定の地域において実施する特定地域選択性をとろうとするならば、保護者や地域住民のコンセンサスを得るのは難しいだろうと推測される。

いずれにしても、検討委員会の意見書が、当該学区の児童生徒や保護者にとって有益なものとなることを最優先に考えたものになることを切望する。

5 学校支援会議

冒頭でも述べたように、家庭や地域の教育力の低下、学校におけるいじめ不登校の問題、児童生徒の学ぶ意欲や学力・体力の低下、規範意識や道徳性の低下、そして、問題行動など、様々な教育課題が指摘されている。

これらの教育課題を学校だけで解決するのは容易ではない。教育の担い手は、学校・家庭・地域であることを今一度肝に銘じ、地域ぐるみの教育を推進しなければならない。

平成24年度に設置されたあま市の「学校支援会議」は、このような認識に立った迅速で力強い学校へのサポートが可能な画期的な体制として評価できる。今後、学校が躊躇することなく学校支援会議への要請と相談ができるような工夫を期待したい。

○ 生涯学習課について

あま市民の自発的な学習意欲、様々な学習ニーズに応えられるような事業・講座を設定している。

公民館事業では、どの公民館も内容が充実した多くの講座を企画運営している。これらの活動を通して、市民が知識や趣味を広げることはもちろん、相互の交流を深める地域コミュニティとしての発展を期待したい。

平成28年度から新規事業として実施しているシルバーカレッジ事業は、入学式・卒業式を含めて28講座が開設されており、定員をはるかに超える受講希望者が集まる人気の高いものとなっている。

この事業は、60歳以上のあま市在住・在勤の方々を対象とし、歴史・健康・運動・ICT関係等に関する各種の講座があり、受講生の学習・健康づくり・コミュニケーション

ョンづくりに貢献している。今後、この事業の拡大・充実を図り、60歳以上のシニア層が生涯現役で生きがいを実感しながら活躍できる新たな地域社会の形成へと発展していくことを期待したい。

あま市の家庭教育推進事業は、とても充実している。子育てに関する知識を広げたり、親同士のつながりを深めたりできるように、様々な幼児期家庭教育講座を開設している。

この事業は、育児不安やストレスに悩む母親の支援として意義あるものである。

各校で開催している家庭教育学級の内容は、どちらかと言えば、健康や趣味に関する実技講座が多い。家庭の教育力が低下する現状の中、今後は、子育てをテーマとした家庭教育に関する講演・研修を増やし、学校と家庭が子育てや子どもの躰に関して共に考えることができるような企画を期待したい。

○ スポーツ課について

平成27年度に新設されたスポーツ課は、幅広い年齢層を対象とした様々なスポーツ教室、スポーツ行事・大会を実施し、市民のニーズに応えていると言える。

今後は、より多くの市民の健康増進・体力向上の機会の提供のみならず、スポーツを楽しみながらコミュニケーションや親睦を深めることができるようなスポーツ教室や講座事業の新設とスポーツ施設・設備等ハード面での整備・充実を期待したい。

○ 学校給食センター課について

「親子料理教室」「学校における食に関する指導の実施」「学校における健康教育の参加」など、各校や関係機関との連携を図りながら、食育推進への積極的なあま市の取り組みは評価できる。

給食提供においては、安全性を最優先する考え方の下、栄養教諭・栄養職員・調理員との連携を図りながら、今まで以上に献立作成から配膳までの各段階において、複数の目によるチェック機能の強化と緊急時の危機管理マニュアル等の見直し、改善を図りたい。

とりわけ、食物アレルギーによるアナフィラキシーショックは、生命に関わる問題であるので、当該児童生徒の保護者からの十分な情報提供の下、医療機関とも連携しながら食物アレルギー対応を踏まえた献立内容の工夫を図りたい。さらに、食材の選定にあたっては、地産地消を一層推進し、安全で安心な食材を提供できるように改善を望みたい。

昨今、異常気象により、日本各地で豪雨による堤防の決壊や土砂崩れ等で、田畑、家屋など大きな被害を受けている。各地で起こる様々な災害において、私たち日本人は、自分のことのように心を痛み、互いを思いやる国民的精神をもって、災害サポーターとして活躍するなど、それが美しい物語として称賛されている。

一方、我々の地域では、大相撲名古屋場所の相撲部屋があり、田んぼ、畑の周辺に色とりどりののぼり旗が立ち、風でたちはためき、爽快な気分させている。

また、社会の情報化が進展し、予想を超える速さで、スマートフォン、携帯電話、パソコン等の情報機器や通信網が発展している。情報の収集や表現、発信などが一段と容易にできるようになった。その一方で、児童生徒がトラブルに巻き込まれる事件や、インターネットの掲示板やSNS、携帯電話のメールによるいじめなど情報化の影の部分が深刻な社会問題になっている。この中で暮らす子供達は、家族とのふれあい等、家庭での生活を失いかけているのではないだろうか。もはや心の底から警笛を鳴らさなければならない。

教育関係に目を移せば、今や教育課題は複雑化し、家庭での教育、地域社会での教育との連携が不可欠と言える。この警笛を止めるためには教育委員会が学校と一体となり、どのような問題があるかを考え、取り組んでいかなければならないのではないか。

○あま市教育相談センター事業について

不登校児童生徒の適応指導など、様々な相談を目的として設立した教育相談センターでは、学校でのいじめ、不登校児童生徒の問題など、数多くの問題が山積していると思われる。この現状に対して、あま市の教育相談センターの活動は大変重要なものと考ええる。今後はさらに学校との連携を深め、一人でも多くの児童生徒を救えるよう、多くの問題に取り組んでほしい。

○学校支援会議について

多くの課題を学校側が背負っている。児童生徒が事故又は事件などを起こした場合、直に学校に責任があるとの社会の風潮が根強く、学校側としても昔ほどの厳しい指導や鍛え方、児童生徒への注意喚起などができない状況にあり、消極的にならざるを得ない。このような状況が続く限り、「学校支援会議」は、学校側のサポート役を担い、積極的な活動と理解を幅広く支援し、皆様に喜ばれる会議となることを期待したい。

○小中学校適正規模見直し検討事業について

H24年～H28年までの長きに渡り、学区の抜本的な見直しについて、児童生徒数、通学距離の問題など、適正委員会委員の意見を聞きながら旧3町単位で実施したが、旧3町の考えが根強く、前に進めなくなり中止になったと聞いた。未だ、あま市民であるという考えが委員の中に不足しているのではないかと。一度、地区委員会を開催し、どのような形式で行うか、再度学校教育課が中心となり、地区委員会での意見を参考に早急にまとめていただきたい。

○特色ある学校づくり推進事業について

この推進事業は、地域に対して魅力ある学校づくりをいかに取り組むか、各学校独自の「真剣味」を全面に出し、新しい取り組みに向かうものである。学校自身がどのように変化し活性化するかが問題であり、児童生徒はもちろん、地域・保護者も、魅力を感じる学校づくりを目指してほしい。

○生涯学習について

あま市では、各種の社会教育事業が展開されている。市にとっては、大変貴重な財産である。合併前の旧町の壁を越えた地域のコミュニティ、市民のふれあい、人間関係など郷土愛もでき、これからも色々な工夫をし、あま市の活性化・発展を目標に参加意欲をかきたてる案を考え、さらなる充実を期待したい。

○子供若者支援地域ネットワーク強化推進事業について

この新事業は、あま市の子供・若者に有益な事業として注目したい。平成28年度は「子ども若者支援地域協議会」設立に向けての準備段階として、子供・若者の現状の理解を深めることを目的に講演会が行われた。「子ども若者支援地域協議会」は、現代の子ども・若者が抱える諸問題、特に貧困・引きこもりの支援対策を行う協議会と聞いている。この協議会があま市の子供・若者達が抱える諸問題に有効なものとなるよう、この段階からしっかりと準備を進めていただきたい。

○新給食センターについて

現在ある旧町の3つのセンターを統廃合した新給食センターが、H31年10月からの操業開始を目指し着実に進められている。このセンターは「あま市の安全安心な給食」という看板を背負っている。児童生徒、家庭にとっては、関心度が高い事業のひとつである。今回、新給食センターから、市内小中学校と保育園、12,000食の給食が配給されると聞く。未来志向の施設と効率的な設備になることを願う。

○スポーツ教室について

平成27年に新設されたスポーツ課の事業であるスポーツ教室は、気楽に市民が参加できる唯一の行事であり、地域での親睦と交流を図るとともに市民の「絆づくり」にもつながると考える。しかし、スポーツ行事の中での大会内容が、あま市内で行われない行事がいくつかあるため、会場までの移動や事故などが心配である。より多くの市民が参加できる行事を市内での開催場所に期待したい。